



2025年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 ビーウィズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9216 URL <https://www.bewith.net/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 森本 宏一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長執行役員（氏名） 飯島 健二 (TEL) 03-6631-6005  
 半期報告書提出予定日 2025年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	18,390	△4.9	855	△39.1	848	△39.2	560	△41.5
2024年5月期中間期	19,339	16.5	1,403	83.3	1,395	76.1	958	82.9

(注) 包括利益 2025年5月期中間期 560百万円(△41.5%) 2024年5月期中間期 958百万円(82.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	39.75	38.98
2024年5月期中間期	68.75	66.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	14,029	9,019	64.3
2024年5月期	14,096	9,192	65.2

(参考) 自己資本 2025年5月期中間期 9,016百万円 2024年5月期 9,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	53.00	53.00
2025年5月期	—	0.00			
2025年5月期(予想)			—	77.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,100	△3.0	1,450	△43.0	1,440	△43.0	960	△47.6	68.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期中間期	14,095,400株	2024年5月期	14,083,200株
② 期末自己株式数	2025年5月期中間期	52株	2024年5月期	25株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年5月期中間期	14,090,742株	2024年5月期中間期	13,938,171株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ホームページ (<https://www.bewith.net/ir/>) に掲載いたします。また、2025年1月10日 (金) に決算説明会 (アナリスト・機関投資家向け) を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動正常化が進み、内需の押し上げを背景に景気は緩やかな回復基調を示しました。一方で、国内では総選挙に伴う少数与党体制が発足するとともに、海外では第2次トランプ政権発足に向けて政策変化が予想され、地政学的リスクも含めて、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するコンタクトセンター・BPO業界は、引き続き、チャイナリスクを発端としたリショアリングBPOや、非対面接客の需要の高まりを背景に、旺盛な需要が続き、堅調に推移しております。

このような経営環境の下、当社グループは2026年5月期までを対象期間とする「中期経営計画2025」において、「根元から新芽まで健康に成長し続ける会社」をビジョンとし、経営方針として①Omnia LINKの強力な成長、②特徴あるコンタクトセンター・BPOの継続的成長、③事業成長を支える経営基盤の構築、の3点の実現に向けて取り組んでおります。

当中間連結会計期間においては、コンタクトセンター・BPOサービスにおける新規受注の遅れや、継続案件におけるライフライン業界の反動減や公共案件の減少が主な要因となり、売上高は対前年同期比で▲948百万円となりました。一方で、重点分野である金融業界においては、新規案件の獲得や既存業務の拡大が見られましたが、これらの成果は上記の減少を補うには至りませんでした。

営業利益については、対前年同期比で▲548百万円となりました。売上高の減少が主因であるほか、成長計画に基づき実施した人材や設備への投資により、売上に対する固定費や販管費の比率が上昇し、営業利益率の悪化を招いております。

Omnia LINK外販については、対前年同期比で+29.1%となる3,698ライセンスとなりました。また、Omnia LINK外販のARR(年次経常収益:毎月継続して生じる収益×12か月で算出)は9.5億円(対前年同期比+32.3%)となりました。

2024年11月末におけるオペレーションブース数は、全国17拠点、7,073ブースとなりました。

上記の結果、売上高は、18,390百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益は、855百万円(前年同期比39.1%減)、経常利益は、848百万円(前年同期比39.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は、560百万円(前年同期比41.5%減)となりました。

なお、当社グループは、コンタクトセンター・BPO事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産額は、14,029百万円となり、前連結会計年度末比67百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少391百万円、売掛金の増加174百万円、投資有価証券の増加122百万円等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における総負債額は、5,010百万円となり、前連結会計年度末比106百万円の増加となりました。これは主に、未払費用の増加226百万円、未払法人税等の減少113百万円、未払消費税等の減少117百万円等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産額は、9,019百万円となり、前連結会計年度末比173百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益560百万円を計上した一方で、剰余金の配当746百万円により利益剰余金が減少したためです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、677百万円(前年同期は1,148百万円の資金の獲得)となりました。主な増加要因として税金等調整前中間純利益846百万円(前年同期1,406百万円)があった一方で、減少要因として売上債権の増加174百万円(前年同期372百万円)等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、335百万円(前年同期は499百万円の支出)となりました。主な減少要因としてコンタクトセンター拠点の新設に伴う有形固定資産の取得による支出69百万円(前年同期164百万円)、無形固定資産の取得による支出127百万円(前年同期139百万円)、投資有価証券の取得による支出135百万円(前年同期99百万円)等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、736百万円(前年同期は611百万円の支出)となりました。主な減少要因として配当金の支払額746百万円(前年同期680百万円)等があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の連結業績予想につきましては、2025年1月10日に公表いたしました2025年5月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせのとおりです。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,099,713	5,707,892
売掛金	4,174,273	4,348,931
商品	5,936	11,436
仕掛品	1,303	36,761
貯蔵品	1,803	1,803
その他	370,215	361,186
流動資産合計	10,653,243	10,468,009
固定資産		
有形固定資産	1,104,199	1,065,220
無形固定資産		
のれん	13,171	8,779
その他	520,442	579,515
無形固定資産合計	533,613	588,294
投資その他の資産		
投資有価証券	253,330	375,538
敷金及び保証金	1,175,756	1,175,505
その他	376,710	356,924
投資その他の資産合計	1,805,796	1,907,967
固定資産合計	3,443,608	3,561,481
資産合計	14,096,851	14,029,490

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	3,911	2,873
未払金	641,630	679,450
未払費用	1,823,435	2,050,124
未払法人税等	492,054	378,450
未払消費税等	782,411	664,995
賞与引当金	328,412	336,951
株主優待引当金	74,625	—
その他	342,990	482,248
流動負債合計	4,489,468	4,595,091
固定負債		
長期借入金	21,600	20,250
退職給付に係る負債	5,871	6,310
資産除去債務	382,539	384,470
その他	4,469	3,994
固定負債合計	414,479	415,024
負債合計	4,903,947	5,010,115
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	893,598	899,973
資本剰余金	996,780	1,003,155
利益剰余金	7,300,131	7,113,899
自己株式	△53	△100
株主資本合計	9,190,456	9,016,927
新株予約権	2,448	2,448
純資産合計	9,192,904	9,019,375
負債純資産合計	14,096,851	14,029,490

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	19,339,333	18,390,363
売上原価	16,237,501	15,631,636
売上総利益	3,101,832	2,758,727
販売費及び一般管理費	1,698,114	1,903,469
営業利益	1,403,718	855,258
営業外収益		
受取利息	1	27
受取配当金	1	1
補助金収入	4,564	5,422
その他	1,516	1,119
営業外収益合計	6,082	6,569
営業外費用		
支払利息	197	173
持分法による投資損失	13,896	12,791
その他	120	354
営業外費用合計	14,213	13,318
経常利益	1,395,587	848,509
特別利益		
持分変動利益	13,671	—
特別利益合計	13,671	—
特別損失		
固定資産除却損	3,070	2,009
特別損失合計	3,070	2,009
税金等調整前中間純利益	1,406,188	846,500
法人税、住民税及び事業税	459,425	266,064
法人税等調整額	△11,425	20,259
法人税等合計	448,000	286,323
中間純利益	958,188	560,177
親会社株主に帰属する中間純利益	958,188	560,177



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	958,188	560,177
中間包括利益	958,188	560,177
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	958,188	560,177

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,406,188	846,500
減価償却費	136,272	164,189
のれん償却額	7,671	4,392
賞与引当金の増減額(△は減少)	51,142	8,539
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△74,625
受取利息及び受取配当金	△2	△28
補助金収入	△4,564	△5,422
支払利息	197	173
持分法による投資損益(△は益)	13,896	12,791
持分変動損益(△は益)	△13,671	—
固定資産除売却損益(△は益)	3,070	2,009
売上債権の増減額(△は増加)	△372,761	△174,658
棚卸資産の増減額(△は増加)	26,155	△40,958
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	287	439
その他の資産の増減額(△は増加)	19,879	△12,116
営業債務の増減額(△は減少)	36,037	11,118
未払消費税等の増減額(△は減少)	83,214	△118,485
その他の負債の増減額(△は減少)	△11,374	410,931
その他	1,050	3,732
小計	1,382,686	1,038,521
利息及び配当金の受取額	2	28
利息の支払額	△197	△173
補助金の受取額	20,031	5,422
法人税等の支払額	△254,118	△365,949
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,148,404	677,849
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△164,014	△69,230
無形固定資産の取得による支出	△139,821	△127,890
投資有価証券の取得による支出	△99,999	△135,000
定期預金の増減額(△は増加)	△1,800	△1,800
敷金及び保証金の差入による支出	△95,897	△389
敷金及び保証金の回収による収入	3,103	640
その他	△824	△1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499,252	△335,116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,388	△2,388
新株予約権の行使による株式の発行による収入	76,494	12,749
自己株式の取得による支出	—	△47
配当金の支払額	△680,458	△746,193
その他	△478	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△611,830	△736,354
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,322	△393,621
現金及び現金同等物の期首残高	4,913,008	6,095,412
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,950,329	5,701,791

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

**【セグメント情報】**

当社グループの事業セグメントは、コンタクトセンター・BPO事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。